

博多名物水炊きを日本中のご家庭に届けたい

福岡県中央会は、中小企業が地域の産業資源を活用して、売れる新商品・新サービスの開発・生産等を行う「地域産業資源活用事業計画」の認定からフォローアップまでの支援を行っています。今回は、2月4日に「簡便かつ本格的な「はかた地どり」水炊き・雑炊等、冷凍・常温品の開発・販路開拓」で九州農政局・九州経済産業局より認定を受けた、「せき亭」の取り組みを九州農業成長産業化フェア出展中の代表の関健太郎さんに話を伺いました。

御社はどのような会社ですか

弊社は、福岡県の地域資源である「はかた地どり」を使用した冷凍真空パックの水炊きや博多雑煮、島原具雑煮、もつ鍋を販売しています。元は、父関靖夫が昭和54年に創業した飲食店「雑煮のせき亭」の持ち帰り・通販部門を平成22年に独立させたものです。



しまばら具雑煮せき亭（博多の古刹承天寺そば）

この「雑煮のせき亭」は郷土料理である「島原の具雑煮」を提供する店として33年前、福岡市博多区で創業しました。

早くから食の安全に着目し、使用する食材は国産、特に九州産を利用しています。また、食生活を中心とした健康づくりへの関心が高まるなか、外食料理の栄養情報として栄養成分表示をいち早く導入し、福岡市が栄養表示を適正に行っている店に与える「福岡市栄養成分表示の

店」の博多区第一号として登録されました。さらに、弊社の商品は、化学調味料は一切使っておりません。こうした九州産へのこだわりや化学調味料不使用、栄養表示による消費者へ適正な情報提供により、お客様に支持されてきたのだと思います。

どういったきっかけで、通販部門を立ちあげたのですか

平成15年に福岡市を襲った水害や17年の地震で「雑煮のせき亭」は被害を受けました。この時に飲食店は外部環境の影響を受けやすく、店舗内の飲食のみで事業を続けていくことのハイリスクである事、来店していただく以外に当店の料理の味を知ってもらう手立てがない事、また、もっと多くの人に当店自慢の「雑煮」を当店の味自体をそのままにご家庭に届けたいと考え、その方法について研究を重ねました。その結果、冷凍真空パック仕様の商品開発にたどりつくこととなりました。

開発した冷凍真空パックは、課題でありました具材とスープの一体調理を実現し、レンジ



せき亭の冷凍真空パックの水炊き

アップで本格的な味を再現することに成功しました。この冷凍真空パックの技術の特許（特許第4680613号冷凍雑煮及びその冷凍雑煮の製造方法）として取得することができました。冷凍雑煮はお陰で、多くのお客様に高い評価を頂き、販売数も順調に伸びていきました。

今回の計画について教えてください

今回の計画は、地元福岡の産品を使用した商品を開発したいと考え、県認定の地域資源である「はかた地どり」を用いた博多の郷土料理である「水炊き」の冷凍真空パックを開発しました。



農事組合法人福栄組合 HP より

この「はかた地どり」は、「福岡県の郷土料理である筑前煮や水炊きをもっと美味しくしよう」という発想が原点となって誕生しました。20余年に亘り県民に広く親しまれ、九州で第一号の特定JAS認定地鶏として、全国5位の出荷高を誇っています。「はかた地どり」の特徴は、国内の在来種の中で最も美味しいと言われている軍鶏と、旨み成分を多く含む横斑を祖父母にもち、これに肉付きのよいホワイトロックを掛け合わせており、肉質がきめ細かく、歯切れが良く、解凍時にうま味成分が充分に残り、店で食べる水炊きとほぼ同じ味・食感を再現することができるようになりました。

この「はかた地どり」水炊きは、試験販売では好評で、首都圏の百貨店での催しものでは、消費者やバイヤーの評価でかなりの手応えを得ることができました。今後は販路を拡大したい

と今は頑張っています。



九州農業成長産業化フェアで商談中の関代表

今後の事業展開をどのようにお考えですか

海外在住の方が帰国して弊社の冷凍真空パックの商品を召し上がった際に「駐在先に持って行きたいが、冷凍だと難しい」といった声をいただくことが幾度かあり、海外で百貨店を展開するバイヤーからのオファーもあったことから、海外での販売を検討しました。しかし、冷凍食品の販売は長距離の移動の際の温度管理が難しく、コストもかかってしまうため、常温で保存できる商品の開発に着手しました。現在、当事業所自慢のはかた地どりのスープの粉末化に成功したところで、これを使って「はかた地どり雑炊」として、商品化を目指しています。

お問い合わせ先

企業名：せき亭
所在地：福岡市博多区博多駅前1-7-16-1F
TEL：092-451-1621
FAX：092-482-0815
URL：<http://www.seki-tei.com/index.html>